

# ブルーノ・ムナーリ こどもの心をもちつづけるということ

## BRUNO MUNARI Conservare lo spirito dell' infanzia

2018年4月7日（土）から6月10日（日）まで



ブルーノ・ムナーリ、自宅にて 1951年頃 撮影：フェデリコ・パテラーニ  
Photo by Federico Patellani © Studio Federico Patellani-Regione Lombardia / Museo di Fotografia Contemporanea, Milano-Crisello Balsamo  
※この画像データは広報用としてご提供いたしかねますので、予めご了承ください。

### ブルーノ・ムナーリ（1907-1998）

ミラノ生まれ。1930年代にイタリア未来派の一員として最初期のキネティック・アートでありモビールの先駆けとなる《軽やかな機械》そして《役に立たない機械》を発表、あわせて広告や雑誌のデザインを手がける。第二次世界大戦後は具体芸術運動やプログラム・アートといった、20世紀前半の抽象画から続く現代美術の先端と密接に関わり、同世代の芸術家とも広く交流を持った。くわえて画期的な素材としかけを用いた絵本の制作、照明や家具といったインダストリアル・デザインの仕事も数多くこなす。晩年は独創的な子ども向けのワークショップを考案し、遊具も発表。日本にも少なからずゆかりがあり、美術評論家の瀧口修造や作曲家の武満徹らと交流している。1998年ミラノ没。

子どもの心を 一生のあいだ  
自分の中に持ち続けるということは  
知りたいという好奇心や わかる喜び  
伝えたいという気持ちを 持ち続けるということ

『ムナーリのことば』19頁

## 展覧会の見どころ

### 1. ブルーノ・ムナーリの日本最大の回顧展

画家、彫刻家、グラフィック・デザイナー、インダストリアル・デザイナー、発明家、著述家、子どもといっしょに遊ぶ人——あらゆる肩書きを持つ稀代の表現者ブルーノ・ムナーリ。その全生涯にわたる作品約320点をご紹介します本展は日本最大の回顧展で、そのうち約150点が日本初公開となります。未来派に関わっていた時代の作品、そして晩年の絵本原画など、これまで日本であまり知られてこなかったムナーリを知る絶好の機会となっています。

### 2. ムナーリの表現や思想を“体験できる”展覧会

本展では、1985年にこどもの城（渋谷）における回顧展で実演されたワークショップを「ムナーリを読み解く鍵」としました。会期中は、ムナーリの絵本や遊具を手にとることができる場を設け、言葉を越えるムナーリの表現や思想に触れていただきます。

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当：高原、鈴木、八木、吉田 展覧会担当：高嶋、翔山

Tel：046-875-2800 Fax：046-875-2968 E-mail：info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

## 企画概要

本展は、芸術からデザインそして児童教育に至るまで独創的な活動を繰り広げたブルーノ・ムナリ（1907-1998）の、はてしない活動を体験するための展覧会です。

ムナリは、幼少期から美術やデザインに関心を持ち、19歳の時に当時のイタリアを席卷していた前衛美術運動の未来派に参画し、大きな影響を受けました。一方で雑誌の編集や挿絵などの仕事を通じて、デザインへの関心と造詣も大いに深めていきます。第二次世界大戦後のムナリはそうした経験を活かし、折りたんで持ち運び可能な彫刻《旅行のための彫刻》や、コピー機を使いながらもオリジナルの平面作品《オリジナルのゼログラフィア》といったかつてない美術作品、そして極めてシンプルであると同時に用の美を備えた照明や家具などを多数発表し、国内外で高く評価されました。

くわえて、ムナリは子ども向けの造形教育にも大いに興味を示し、遊具をはじめ、沢山のしかけが込められた絵本などを発表します。さらには子どものためのワークショップも考案し、それらは身の回りの慣れ親しんだ素材から創造力を飛躍させる創作活動として、今日でも全く色褪せることはありません。

本展は、1985年にこどもの城（渋谷）における回顧展の際に実演されたワークショップを「ムナリを読み解く鍵」として、その全生涯にわたる作品約320点をご紹介します。そのうち約150点は日本初公開となる作品で、未来派に関わっていた時代の作品、そして晩年の絵本原画など、これまで日本であまり知られてこなかったムナリの一面を教えてください。また会期中は、ムナリの絵本や遊具を手にとることができる場を設け、言葉を越えるムナリの表現や思想に触れていただけます。

画家、彫刻家、グラフィック・デザイナー、インダストリアル・デザイナー、発明家、著述家、子どもといっしょに遊ぶ人——あらゆる肩書きを持つ稀代の表現者ブルーノ・ムナリの日本最大の回顧展を、ぜひお見逃しなく。

## 完璧さとは美しい、が、愚かしくもある。

『ファンタジア』195頁

## 開催概要

ブルーノ・ムナリ こどもの心をもちつづけるということ BRUNO MUNARI Conservare lo spirito dell' infanzia

会期：2018年4月7日（土）から6月10日（日）まで 会場：神奈川県立近代美術館 葉山

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで） 休館日：月曜日（4月30日は開館）

主催：神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 後援：イタリア大使館、イタリア文化会館

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網 協力：アリタリアーイタリア航空、日本通運

特別協力：特定非営利活動法人市民の芸術活動推進委員会、日本ブルーノ・ムナリ協会 出品協力：パルマ大学CSAC

観覧料：一般1200（1100）円／20歳未満・学生1050（950）円／65歳以上600円／高校生100円

\*「ブルーノ・ムナリ」展をご覧の方は、同展の観覧券で同日に限りコレクション展「抽象の喜び」もご覧いただけます。\*（ ）内は20名以上の団体料金です。中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方（および介助者原則1名）は無料です。\* 無料開館日：5月18日（金）「国際博物館の日」は、開催中の展覧会を無料でご覧いただけます。\* ファミリー・コミュニケーションの日（毎月第1日曜日：5月6日、6月3日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金（65歳以上の方を除く）でご利用いただけます。また同日は「会話を楽しむ日」となりますので、小さなお子様連れの方も、遠慮なくご観覧ください。\* その他の割引につきましてはお問い合わせください。

〔同時開催〕 コレクション展「抽象の喜び」

〔次回開催〕「国立民族学博物館コレクション 貝の道」展／コレクション展「絵ってとまっているのかな？」 6月23日（土）から9月2日（日）まで

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当：高原、鈴木、八木、吉田 展覧会担当：高嶋、靄山

Tel：046-875-2800 Fax：046-875-2968 E-mail：info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

## 関連イベント

すべて申込不要、参加無料。ただし展示室で行われる企画は、本展の当日観覧券が必要です。  
※詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

### ○オープニング・トーク

講師：アルベルト・ムナリー（ジュネーブ大学名誉教授／ブルーノ・ムナリーご子息）  
日時：4月7日（土）午後1時30分から3時まで  
場所：講堂

### ○講演会 ブルーノ・ムナリー——ひたすらに造形の言葉を求めて

講師：岩崎清（日本ブルーノ・ムナリー協会代表）  
日時：5月5日（土・祝）午後2時から3時30分まで  
場所：講堂

### ○毎週土曜日はムナリーの遊具で遊ぼう

ムナリーがデザインした子ども向けの遊具に触れます。  
日時：会期中毎週土曜日 午前10時から12時まで／午後2時から4時まで  
対象：3歳以上（小学生以下は保護者同伴）

### ○毎週日曜日はムナリーのワークショップに参加しよう

本展のテーマであるムナリーの6つのワークショップを体験します。  
日時：会期中毎週日曜日 午後2時の各2回（事前申込不要）  
対象：3歳以上（小学生以下は保護者同伴）

### ○いろいろな「役に立たないもの」をつくろう

「役に立たない機械をつくる」でも知られるムナリーの、役に立たずとも魅力溢れる作品の再制作。  
対象：小学生以上（小学生以下は保護者同伴）

——「みだての石」をみんなで描こう  
——みんなで一色海岸に「風景」や人、ものを描き出します。  
——日時：4月15日（日） 各日午後2時から4時まで——荒天中止

——「読めない本」をみんなで読もう  
——様々な色画用紙とトナーを使って、文字も絵もない不思議な絵本を作ります。  
——日時：4月22日（日）、5月20日（日） 各日午後2時から4時まで

### ○担当学芸員によるギャラリートーク

大人むけ  
日時：4月8日（日）、5月19日（土）各日午後2時30分から3時まで  
場所：展示室 対象：中学生以上

子どもむけ  
日時：4月28日（土）、5月12日（土）各日午前11時から11時30分まで  
場所：展示室 対象：小学生以下（保護者同伴）

### ○近代美術館入門講座「“役に立たない”ブルーノ・ムナリー講座」（葉山町共催）

日時：4月21日（土）午前10時から11時まで  
場所：葉山町福祉文化会館 大会議室  
講師：高嶋雄一郎（当館学芸員）

ある人が将来クリエイティブな人間になるか、  
あるいは単なる記号の反復者になるかは  
教育者にかかっている。  
『ファンタジア』37頁

著作権者のご意向をふまえ、  
ワークショップは中止となりました。

ムナリーの言葉の出典：  
ブルーノ・ムナリー・著、萱野有美・訳『ファンタジア』  
みすず書房、2006年  
ブルーノ・ムナリー・著、阿部雅世・訳『ムナリーのことは』  
平凡社、2009年

## ●広報用画像データ一覧

展覧会広報用として、画像データをご用意しております。ご希望の場合は、メールにてお申し込み下さい。

その際、次の必要事項の明記をお願いいたします。

希望画像のアルファベット／貴社名／媒体名／掲載予定日／ご担当者名／ご連絡先

神奈川県立近代美術館 広報担当メールアドレス [info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp](mailto:info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp)



A



B



C



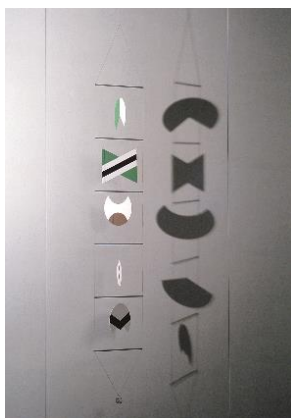
D



E



F



G



H

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

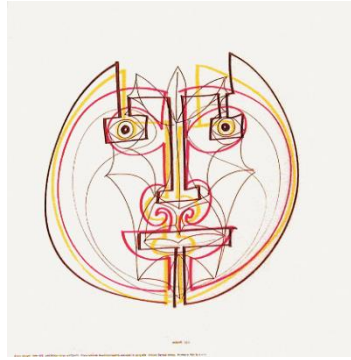
広報担当：高原、鈴木、八木、吉田 展覧会担当：高嶋、靑山

Tel：046-875-2800 Fax：046-875-2968 E-mail：[info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp](mailto:info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp)

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



I



J



K



L

## 画像キャプション

※A~Lすべてのキャプション末尾（Dのみ、撮影者名の前）には、必ず下記のクレジットを表記するようにお願いいたします。

© Bruno Munari. All rights reserved to Maurizio Corraini srl. Courtesy by Alberto Munari

- A 《穴のあるコンポジション》1950年、カーサペルラルテ=パオロ・ミノーリ財団
- B 《無題》1930年、カーサペルラルテ=パオロ・ミノーリ財団
- C 『乳の衣服に捧げる詩』（文：フィリッポ・トンマーゾ・マリネッティ 挿画：ブルーノ・ムナーリ）1937年、宇都宮美術館
- D 《時間X》1963年、ジャックリーン・ヴォドツ・エ・ブルーノ・ダネーゼ財団  
Photo by Roberto Marossi. Courtesy Fondazione Jacqueline Vodoz e Bruno Daneze
- E 《読めない本》試作 1955年、パルマ大学CSAC
- F 《『木をかこう』のための表紙案》1977年、パルマ大学CSAC
- G 《役に立たない機械》1934年/1983年、特定非営利活動法人市民の芸術活動推進委員会
- H 《旅行のための彫刻》1965年、富山県美術館
- I 《みたての石》1985年、特定非営利活動法人市民の芸術活動推進委員会
- J 《祖先の重み》1964年/1970年、特定非営利活動法人市民の芸術活動推進委員会
- K 《チューブ型照明器具：フォークランド》1964年/1999年、特定非営利活動法人市民の芸術活動推進委員会
- L 《触覚のボード》1994年、カーサペルラルテ=パオロ・ミノーリ財団

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当：高原、鈴木、八木、吉田 展覧会担当：高嶋、靄山

Tel：046-875-2800 Fax：046-875-2968 E-mail：info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>